

みやぎ声明

世界が経験したことのない人口減少社会に直面している中、希望ある日本の未来を切り拓くためには、既存のルールや規制にとらわれない新しい発想の下、活力に満ちた地方を築き上げなければならぬ。

若い世代や女性が、持てる力を最大限に発揮できる「活躍の場」と、「幸福を実感し、安心して暮らせる環境」が地方に求められている。

東日本大震災を乗り越え、未来を見据えた地域づくりを推進し、これからの日本を担う「将来世代」の笑顔あふれる明日に向かって、我々14名の知事は、地方から積極果敢に行動を起こす決意である。

我々は、

- 子どもたちの成長を社会全体で応援するための機運を醸成し、子育ての負担軽減に取り組む。
- 11月19日の「いい育児の日」などを通じて、家庭や子育てを支える地域の大切さをアピールする。
- 若い世代が、希望を持って結婚、妊娠、出産、子育てができるよう切れ目のない支援に取り組む。
- 世代を超えて貧困が連鎖することのないよう、総合的できめ細かな子どもの貧困対策に取り組む。
- すべての子どもが温かい家庭環境の中で養育されるよう、家庭への養育支援から代替養育までの社会的養育の充実に取り組む。
- 女性が個性や能力を十分に発揮し、輝くことができる社会づくりに、企業や地域と一体になって取り組む。
- 「イクボス」として、自ら率先して働き方改革を実践し、働きやすい社会の実現に取り組む。
- 一人ひとりが仕事と家庭を両立できるよう、それぞれのライフステージに対応した「多様な働き方」を推進する。
- 将来世代が「学びたい」「働きたい」「暮らしたい」と感じられる魅力ある地域を創り出す。
- 産学官民が一体となって、地域産業の担い手となる人づくりを推進し、新事業の創出など地域のイノベーションを促進する。
- 地方への移住定住を積極的に支援し、大都市から地方への「新しい人の流れ」を生み出す。

以上、東日本大震災を乗り越えて子どもたちの未来を拓くために、我々はこのように宣言する。

平成30年5月31日 日本創生のための将来世代応援知事同盟

我々が日本をリードする。